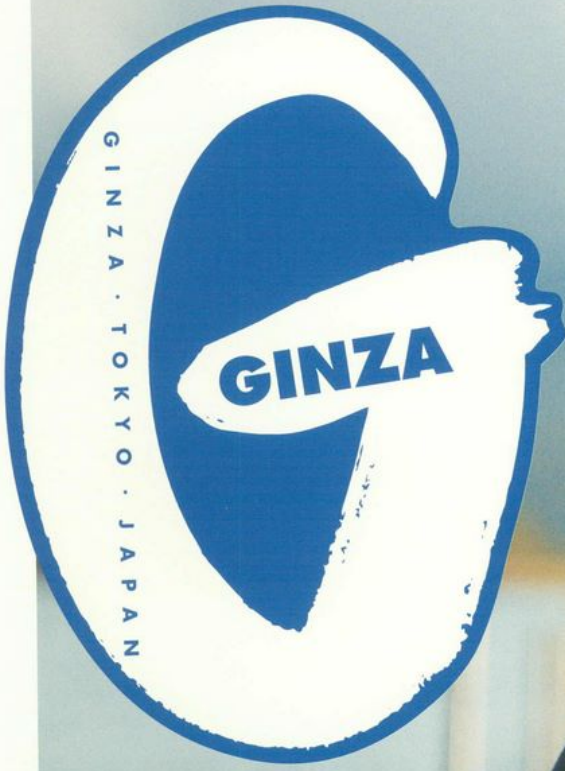


センスがいい125人の日用品を大調査! / サンダーバードに夢中
あいみよんスペシャル / 岩本 照 (Snow Man)



もしやれな人が毎日使うもの

1

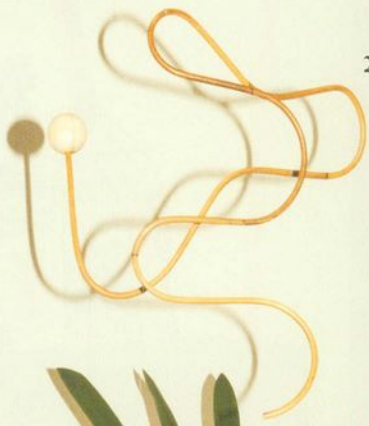
the catalog of daily essentials

2022年1月号(毎月12日発行) 2021年12月10日発売 第26巻第1号 平成30年6月25日第三種郵便物認可
ISSUE 295
JAN. 2022

特別定価 860 YEN

今の時代を映し出す ニユースタンダードな日用品

自宅で過ごす機会が多い日常に慣れてきた2021年。
環境への配慮がトレンドからテフォルトに、
身のまわりのものを選ぶ気分にも変化が現れているようです。



2

1 SLOWDOWN STUDIOのミニブランケット

> オモムロニ。

踊っているようなバナナが楽しげな、アーティスト Liv Leeによるイラスト。「これまでブランケットは肌触り重視でしたが、今年はアートを感じて購入しました。ポップな絵柄と印象的な色合いが素敵で、ひとつ取り入れると部屋の雰囲気が変わります」。しっとり厚みがある生地なので安心感も満点。Bendy nanas 76×102cm ¥17,050 (スローダウンスタジオ | キアン)

2 takayokatayamaのオーナメント

> 岩谷香穂

「目線の所在がない時、窓際に飾ったモビールをぼんやり眺めていると、気持ちが癒されます」。籠を作る際に出た廃棄される紅籐を捨てられずに集めていたのが制作のきっかけ。生育時にできる節や斑、歯やうねりといった表情は、人間とも通じる個性の印。球体とテグスでつないで宙に浮遊するようなフォルムが風に揺れて変化する様は、ずっと見ていられる。一点もの。¥9,900 (タカヨカタヤマ)

3 Ambientecのキャンドルライト

> 小高真理

振り子と磁力で揺れるレンズを下からLEDライトで照らして、不規則にたゆたう灯りを設計。「眠る前のひととき、ふわりと揺れる光に癒やされています。充電式で防水性能があるので、バスルームやテラスで使えるのもうれしい。デザイナー吉添裕人さんのこだわりと確かな技術がうかがえます」。温もりのある光は銀燭と同じ色温度の2000K。hymn gold H17.7×φ6.9cm ¥29,700 (アンビエントック)

4 GERVASONIのオブジェ

> 飯田珠緒

旅行先で見つけた有機的な木の形状や質感を、ブランドのアートディレクター、パオラ・ナヴォーネがそのまま活かした名品。ひとつとして同じものが無く、しだいに割れが進行するのは半生の木だからこそ。そばに置けば日常のざわめきからエスケープさせてくれる。「ベッドの隅でテーブル代わりにするのにぴったり」。Brick-S H47×φ31~35cm *個体差あり ¥66,000 (ジェルバゾーニ | OBブック)

5 HOW TO WRAP_のラップドストーン

> 吉田裕美佳

1本の基礎を用いた伝統的な結び方で石を包んだオブジェ。大地が作り出したフォルムと原始的な模様に向き合える。「常に自然のものがあると、空間のすわりがよくなり、心も落ち着いてきます。石の種類や結び方はさまざまで、どれもいいので何個でも集めたい」。手に取れるポップアップなどの最新情報は、公式インスタグラムでチェック。1点 ¥6,000 ~ *作品により価格は変動 (ハウトゥラップ)

1

3

5

4

5